

地域と連携した組織的な学校運営 (検討用資料)

目指す姿 (目標)

1. 学校と地域による子ども像の共有

2. 学校と地域の役割分担の明確化、教職員の負担軽減

3. 学校と地域の相互の信頼関係の構築

4. 地域住民の参画・協働の拡大

5. 持続可能なしくみの構築

実現するための方策例

①学校づくりビジョンの協働作成
 ・学校評価の目標設定
 ・教育委員会の方針にもとづく計画策定
 ・学校種間の連携(小中連携等)

②学校づくりビジョンの地域との共有
 ・計画の文書化、図示化
 ・双方向的なコミュニケーション
 ・熟議の活用

③地域住民が参画・協働しやすい仕組みの導入
 ・学校評議員制度の活用
 ・学校関係者評価の活用
 ・アンケートの実施・公表
 ・PTAの活用
 ・学校運営協議会の導入
 ・連絡会(CS的取組)

④地域の人材を引き寄せる仕組み
 ・学校支援地域本部事業の活用
 ・放課後子ども教室事業の活用
 ・学習支援ボランティア(ゲスト・ティーチャー等)
 ・学校施設(図書館、体育館、学校農園等)の開放
 ・シニアスクールなど公開講座
 ・学校公開、授業公開

⑤学校の地域活動への参加
 ・地域スポーツクラブとの連携
 ・地域行事への参加
 ・まちづくり協議会などとの協働
 ・地域学習をカリキュラム化
 ・大学、地元企業との連携

⑥地域住民への情報提供・理解増進
 ・広報紙、地域情報紙等の活用
 ・地域住民への説明会の実施
 ・ICTの活用と充実

⑦地域住民の参加の継続性の確保
 ・地域コーディネーターの確保、研修
 ・運営経費の基金化
 ・組織のNPO化

⑧学校による地域課題解決への貢献
 ・地域のネットワークづくり(共助)
 ・地域活動の拠点(子育て、生涯学習等)

⑨地域づくりの担い手の人材育成
 ・地域コミュニティの活性化

校長のリーダーシップ発揮

・マネジメント能力の向上

教職員の意識改革

・研修の充実
 ・教員公募制の活用

行政の支援

・研修(教職員、地域住民)
 ・効果的な成功事例の情報提供
 ・予算措置
 ・教職員人事
 ・学校教育と社会教育の融合
 ・子育て、福祉部局との連携
 ・地域づくり、町づくり部局との連携

◆自律的な学校運営改善サイクル

(評価・検証・改善)

- ・成功体験→モチベーションの向上
- ・失敗体験→改善点の気付き

より良い学校づくりの実現

- (例)・教育の質の向上
 ・児童生徒の問題行動減少
 ・学習意欲と学力の向上
 ・地域、家庭の教育力の向上 等々

学校を核とした地域の活性化